



那賀町立相生小学校

あいおい

令和5年度学校便り

NO.30

2024.1.26発行

発行責任者

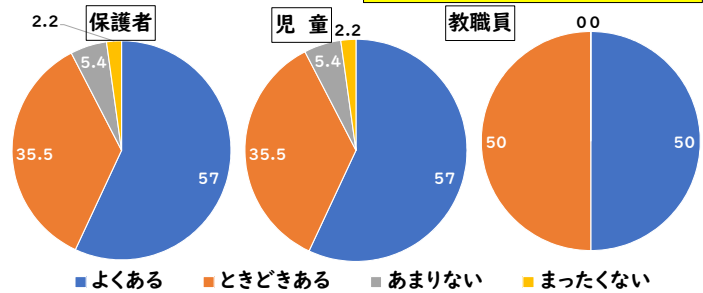
谷 多美子

ウェルビーイングをめざして

「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という問いが本年度の6年生対象の全国学習状況調査の質問にふくまれました。将来の予測が困難な時代において、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までも含めた幸福（ウェルビーイング）の向上が求められています。学校教育目標にも「幸福な人生」という言葉を取り入れたこともあり、学校評価で保護者、児童、教職員それぞれに同じ質問をしました。「幸福（ウェルビーイング）」の捉え方は、個人によって異なる多様なものです。児童の「幸福（ウェルビーイング）」の向上が実現するためには、成長の環境となる学校（教職員）や家庭（保護者）、地域が幸福や生きがいが高い状態であることが大切と考えます。

持続可能な社会と幸福な人生をつくる

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



椿小学校との交流

1月12日（金）椿小学校と交流学習がありました。仲良くなるために何をするか、学級会で話し合い、計画し、準備を進めた学級もありました。昨年平谷小学校の児童のように、普段は複式で学習し、在籍が一人の学年もあり、最初は不安もあったようですが、あっという間にうちとけて、どの学年も楽しく交流していました。互いの学校を紹介する集会と一時間の各学年ごとの交流学習でした。次の見学先である山のおもちゃ美術館に向かうバスをみんなで見送りました。



えがお だれかを笑顔にしている人は、きっと「幸せ」を感じていると思います。



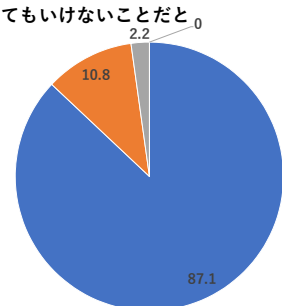
1年生を笑顔にする会



デュアルスクール生歓迎

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。【児童】

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまり思わない
- 思わない



じぶんともだち 自分と友達、どちらも大切に。友達を笑顔にする言葉の名人になってください。